

配送伝票印刷処理プログラム

V e r. 1 . 0 . 0 . 0

利 用 解 説 書

夢企画

〒812-0061

福岡市東区筥松2-3-17

マクシーズ箱崎アバンテ 202号

Phone: 092-624-1316

F A X: 092-624-1317

HomePage: **yumekikaku.jp/**

2008年1月27日

目次

概要・特徴	3
仕様	3
制限事項	3
動作環境	3
インストール／アンインストール	4
注意事項・連絡先等	4
制限解除キーについて	5
単一のプログラムとして利用する場合	6
1) コントロールパネル	6
2) 印刷処理パネル	7
3) 伝票様式データ編集パネル	8
他のアプリケーションから利用する場合	9
コマンドライン詳細	1 1
戻り値（エラーレベル）一覧	1 2
データファイル詳細	1 3
◎様式定義ファイル	1 3
1) 標準定義項目	1 4
2) ユーザー定義項目	1 5
3) 様式定義ファイルの例	1 5
◎印刷用データファイル	1 7
動作確認ツール	1 8

概要・特徴

本プログラムは宅配業者にて一般的に使用されている配送伝票への印刷処理を行う事を主な目的としています。
またこの機能を独立したプログラムとしてメニュー形式で実行させることはもちろん、他のプログラムからコマンド形式で起動する事により独自アプリケーションの一部として実行させる事も可能なつくりとしています。

伝票様式は複数登録することが可能で、更に印刷データの中に様式の指定を複数含める事も可能です。

伝票様式データはユーザーによりレイアウトや印刷項目などの編集が可能です。

伝票印刷用データは、タブコードと改行コードで区切られた一連の文字データ列で、表計算やデータベースソフト等からの出力をそのまま利用可能な様になっています。また同データはファイルで渡すこともクリップボードで渡すことも可能です。

基本的には伝票印刷が目的ですが、レイアウトに制限を設けていないので、A4（縦）サイズまでであれば自由に様式を定義する事が可能です。よってレイアウトの決まった用紙への印刷ツールとしてもご利用いただけます。

他のアプリケーションから利用する場合に本プログラムが正常に機能しているかどうかをテストするためのチェックツールも同時にインストールされますので、独自アプリケーションの一部として利用する場合などにご利用下さい。（→P18）またインストールしたフォルダ内に印刷データのサンプル（印刷テストデータ.dat）も同梱していますので、データ作成時の参考にしてください。

仕様

印刷データの引渡し： テキストファイルまたはクリップボード
1 様式中の項目数： 最大 100項目
登録可能様式数： 最大 100様式
項目内容の装飾： フォントサイズ／文字間隔／行間隔／“-”の間隔・無視・空白置き換え
用紙サイズ選択： 縦 2, 3, 3.5, 4, 4.5, 5, 5.5, 6, 6.5, 7, 7.5, 8, 9, 10（インチ）
及び事前にプリンタードライバー側でユーザー定義用紙として登録したサイズ。
横 指定サイズ以上の幅を持つ用紙
※指定のサイズが無い場合は “A4” を選択。 “A4” サイズも無い場合は処理中止。

制限事項

- 1) 印刷時の用紙サイズは伝票様式データ中の “Size:” 指定により判断しますが、必要なサイズが無い場合は “A4” が選択されます。もしA4サイズも無い場合は用紙指定エラーとして処理を中止します。一般的でないサイズを使用する場合は事前にドライバー側でユーザー定義を行ってください。
用紙サイズの選択は、指定された幅を超える用紙の中から高さに合致した用紙を選択する様にしています。
- 2) 印刷は定義された位置に指定の大きさに印刷されます。
領域を指定して文字サイズ等を自動調整する様な処理はしておりませんので、印刷データ作成時点で文字数や行数などを考慮する必要があります。
- 3) 他のプログラムから実行させる場合、セキュリティ関連のソフトウェアによっては呼び出しを監視し問い合わせ等を行う事があり一連の処理が中断される場合があります。
- 4) 結果データをクリップボード経由で返す処理がありますので、クリップボードの利用状況を十分に把握して利用してください。
- 5) 出力先にプリンター以外のデバイスを指定した場合、文字化け等を起こす現象を確認しています。
- 6) プログラムのインストール直後は「試用モード」で動作します。
「試用モード」では以下の制限がかけられています。
 - ・連続印刷処理は5件まで印刷。
 - ・本プログラムの起動回数 300回（制限に達した以降は印刷等は行えません。）※これらの制限を解除するには「制限解除キー」の適用が必要です。
詳しくは「制限解除キーについて」（→P5）の項を参照してください。

動作環境

Windows98SE 以降のOS（Vistaでの動作は未確認）、256MB以上のメインメモリーを推奨
800×600以上の画面サイズ、.net Framework1.1コンポーネントが必要です。
その他、利用するプリンター等が正常に動作する環境が必要です。

インストール／アンインストール

◎インストール

- ・DeliverySlip.zip をダウンロードした場合。

- 1) ダウンロードしたZIPファイルを解凍（展開）します。
ご使用の環境によっては解凍ツールが必要な場合があります。
- 2) 解凍したファイル内のSetup.msiを実行してください。
ご利用の環境に必要なコンポーネント(.net Framework1.1)がインストールされていない場合はその入手について案内されますので、先にコンポーネントをインストールしてください。
※コンポーネントのインストールにはインターネットへの接続環境が必要です。

- ・夢企画のCDからインストールする場合。

- 1) CD内の「DeliverySlip」フォルダを開きます。
- 2) Setup.exeを実行します。
ご利用の環境に必要なコンポーネント(.net Framework1.1)がインストールされていない場合は先行して同コンポーネントのインストールを行いますので、指示に従って進めてください。

※インストールにより、以下の内容がシステムに追加されます。

- 1) プログラムメニューに「配送伝票印刷」
- 2) プログラムフォルダに「夢企画」→「配送伝票印刷」

◎アンインストール

一般的なアンインストール手順を行ってください。

コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」から「配送伝票印刷」を選択し「削除」を指示します。

※アンインストールにより制限解除状態の記録も削除されますのでご注意ください。

注意事項・連絡先等

本プログラムは夢企画（太田正実 ハンドル名 CANOMATE）が著作に関する全ての権利を有します。

連絡先 : 夢企画

〒812-0061 福岡市東区筥松2-3-17 マクシーズ箱崎アバンテ 202号

電話: 092-624-1316 FAX: 092-624-1317

ホームページ: yumekikaku.jp (夢企画.jp)

禁止事項:

- 1) リバースエンジニアリング及びそれに類する行為。
- 2) 許可無くプログラムの内容を改変する行為。
- 3) 営利を目的として配布する行為。
- 4) 制限解除コードの告知及び再配布。

許諾事項:

- 1) 本プログラムを「試用モード」で使用する場合は無償にてご利用いただけます。
- 2) 著作に関する権利を侵害しない範囲に於いて、本プログラムの配布は自由です。

免責事項:

- 1) 本プログラムの使用によって生じた不具合及び不利益に対して一切の責任を負いません。

要望等 :

- 1) ご要望や不具合点などの情報をお寄せいただければ更新版として公開する場合があります。
ドットプリンターの実機が無い環境で作っておりますので、特有の不具合などのご報告をいただければ幸いです。
- 2) カスタマイズについては有償にてお請けしますのでご相談下さい。

制限解除キーについて

本プログラムのインストール直後は「試用モード」で動作し、機能の一部が制限されています。
この制限を解除するには「制限解除キー」の適用が必要となり、そのコード発行に対して料金が発生します。

制限解除キーには有効期限があり、指定期日までに適用した場合にのみ解除が行われます。

解除手続きは「コントロールパネル」(→P 6) より「このプログラムについて」を選択し、開かれたパネルの入力枠に解除キーを入力し「制限解除」ボタンを押します。

期限付き解除キー： 指定期日までに適用した場合に制限が解除されます。

※制限解除キーの適用は 1 台のシステムのみとし、無償再発行は行いません。

解除コード購入の際は、実機にて本プログラムを十分にテストした上でご購入下さい。

解除キー購入の際は夢企画のサイト (yumekikaku.jp/) より「夢企画商店」(yumekikaku.jp/store/) にアクセスしてカテゴリの中から「夢企画」→「制限解除キー」→「伝票印刷処理」を開き所望の解除キーの購入手続きをしてください。

メールや F A X でも受け付けますので、気軽にお問い合わせ下さい。

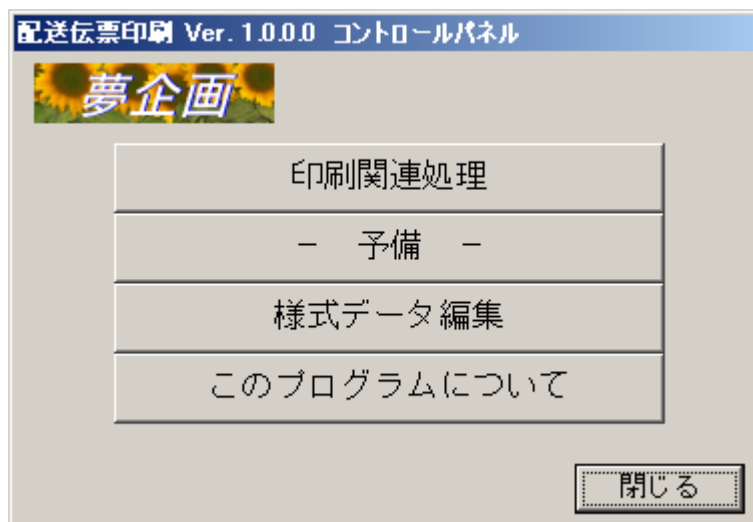
(※不在が多いので電話の場合はメッセージをお残し下さい。)

単一のプログラムとして利用する場合

1) コントロールパネル

単一のプログラムとして利用する場合は、コントロールパネルを利用します。

スタートメニューから「配送伝票印刷」→「配送伝票印刷処理」を実行すると右の様なコントロールパネルが表示されますので、各処理ボタンで所望の機能を実行してください。



【印刷関連処理】 ボタン

実際の伝票印刷処理を行う場合や標準として使用するプリンター及び伝票様式の設定を行う場合に選択します。(→P 7)

【様式データ編集】 ボタン

伝票様式の定義情報を編集します。

定義内容についての詳細は「様式定義ファイル」(→P 13)を参照してください。(→P 8)

【このプログラムについて】 ボタン

本プログラムに関する簡単な説明を表示します。

制限解除を行う場合もこのボタンからパネルを開き、解除手続きを行います。

【閉じる】 ボタン

本プログラムを終了します。

2) 印刷処理パネル

印刷に関する処理を行います。

標準で使用するプリンターや伝票様式の指定、そして実際の伝票印刷処理を行います。

必要であれば印刷用データの内容を確認する事も可能です。(データの編集は出来ません)

Form	Req	Date	Deli	Rec_Name	Rec_Post	Rec_Adrs	Rec_Phon	Cnt_Name	Cnt_Code	Cnt_Pric	Req_Name
日本通運	太田正実	2007/12/1		受取人名 1	800-1234	受取人住所 1		2行目住所	092-123-4567		内容: テストフォーム
		2007/12/10		受取人名 2	980-4321	受取人住所 2		2行目住所	092-123-4567		内容:

【標準に】ボタン

左の枠で選択されているプリンターあるいは伝票様式を標準で使用するプリンターあるいは様式として登録します。

※プリンターは「システムで使用する標準のプリンター」ではなく、本プログラムが使用するプリンターとしての「標準」を意味します。

【クリップボード】チェック

印刷データの対象をクリップボードの内容とする場合にチェックをつけます。

【ファイル選択】ボタン

印刷データの対象とするファイルを選択（指定）するためのパネルを開きます。

クリップボードがチェックされている場合はボタンが無効となります。

【データ表示】ボタン

指定されている印刷対象ファイルの内容を表示します。

【印刷実行】ボタン

指定されている印刷データを実際に印刷します。

【文字コード】選択

印刷データの対象としたファイルの文字コードセットを指定します。

クリップボードがチェックされている場合は無効になります。

【開始レコード】設定

印刷データ中で実際に印刷開始するデータの番号を設定します。

最大値は65000です。

【印刷レコード数】設定

印刷開始データから印刷する件数を指定します。

“0”は最後までを意味します。

最大値は65000です。

※出力先は選択されているプリンターになりますが、伝票様式の指定は印刷データ内で指定された様式が優先されます。

3) 伝票様式データ編集パネル

伝票様式に関するデータを編集します。単純なテキストファイルなので、一般のテキスト編集ツールでも編集可能です。

データに関する詳細は「様式データファイル」の項(→P 13)を参照してください。

〔前の様式へ〕ボタン

〔次の様式へ〕ボタン

角括弧“[]”で囲まれた、様式データの開始行へカーソルを移動します。

※“[]”のみを検索するので、様式データ以外の場所へ移動する事もあります。

配送伝票印刷 Ver. 1.0.0.0 伝票様式データ編集

前の様式へ 次の様式へ フォントサイズ: 10 キャンセル 保存して閉じる

◎year_base: 行は和暦の基点となる西暦年を設定します。
年号が変わった場合は変更します。

※ "init:" "year_base:" は伝票様式定義の前に記述すること！

init: 0, 0, 4, MS 明朝 ; 和暦計算用の値 (元号の基点西暦年)
year_base: 1988

【日本通運 ペリカン便】

Size, 230,101 ; 用紙サイズ指定
Offset, 10, 0 ; 項目位置情報に対する基準位置

Date_ww, 93, 9, 11 ; 受付日 和暦年
Date_mm, 103, 9, 11 ; 受付日 月
Date_dd, 113, 9, 11 ; 受付日 日
Deli_ww, 93, 18, 11 ; 配達予定日 和暦年
Deli_mm, 103, 18, 11 ; 配達予定日 月
Deli_dd, 113, 18, 11 ; 配達予定日 日

Rec_Post, 32, 7, 15, 7.5, 4.5 ; 受取人 郵便番号
Rec_Adrs, 30, 18, 12, 0, 0, 8 ; 受取人 住所
Rec_Name, 30, 40, 12 ; 受取人 名前
Rec_Phon, 33, 47, 12, 4.5, 4 ; 受取人 電話番号

〔フォントサイズ〕指定

表示のフォントサイズを変更します。9～13まで設定可能です。

〔キャンセル〕ボタン

編集内容を破棄してパネルを閉じます。

〔保存して閉じる〕ボタン

編集内容を保存してパネルを閉じます。

他のアプリケーションから利用する場合

本プログラムを他のソフトウェアから呼び出す形で利用する場合は、所望の機能をコマンドライン引数にて指定します。詳しくは「コマンドライン詳細」の項（→P 1 1）を参照してください。

本プログラムは処理の終了に際して、実行結果を示す情報として ErrorLevel を返します。

また処理内容によっては指定されたファイルあるいはクリップボードを経由して実行結果としての内容を返します。詳しくは、「戻り値（エラーレベル）」（→P 1 2）及び「コマンドライン詳細」（→P 1 1）を参照してください。

以下に Microsoft Excel の V B A から本プログラムを利用する場合の簡単な例を示します。

この例では本プログラムを起動後その終了まで待機する様にしています。

Ex c e l V B A から呼び出す場合のコーディング例 -----

```
Private Declare Function OpenProcess Lib "kernel32" _
    (ByVal dwDesiredAccess As Long, ByVal bInheritHandle As Long, _
    ByVal dwProcessId As Long) As Long

Private Declare Function WaitForSingleObject Lib "kernel32" _
    (ByVal hHandle As Long, ByVal dwMilliseconds As Long) As Long

Private Declare Function CloseHandle Lib "kernel32" _
    (ByVal hObject As Long) As Long

Public Declare Function GetExitCodeProcess Lib "kernel32" _
    (ByVal hProcess As Long, lpExitCode As Long) As Long

Sub main()

    Dim Message As String
    Dim ErrorLevel As Long

    ErrorLevel = PrintProc("print c:\testg.dat")      ' コマンド内容を設定して処理実行ルーチンへ

    ' 終了コードによる結果判定
    Select Case ErrorLevel
        Case Is = 0: Message = "正常終了しました。"
        Case Is > 0: Message = Str(ErrorLevel) & " 番目またはその前のデータでエラーが発生しました。"
        Case Is = -1: Message = "処理指定エラーです。"
        Case Is = -2: Message = "指定されたファイルが存在しません。"
        Case Is = -3: Message = "内部で使用するファイル等でエラーが発生しました。"
        Case Is = -4: Message = "その他のエラーが発生しました。"
        Case Is = -5: Message = "文字セット指定に誤りがあります。"
        Case Is = -6: Message = "ファイル書出し時にエラーが発生しました。"
        Case Is = -7: Message = "指定されたファイルがありませんでした。"
        Case Is = -8: Message = "フォントの指定に誤りがあります。"
        Case Is = -10: Message = "指定されたプリンターがありません。"
        Case Is = -11: Message = "用紙の指定が出来ませんでした。"
        Case Is = -12: Message = "何らかの理由で印刷が出来ませんでした。"
        Case Is = -20: Message = "指定された様式がありません。"
        Case Is = -100: Message = "処理終了を確認出来ませんでした。"
    End Select

    ' 結果の表示
    Dummy = MsgBox(Message, vbOKOnly, "処理結果の通知")
End Sub
```

```
' 呼び出し処理
'
' 処理を呼び出し、終了まで待つ場合の処理です。
' バックグラウンドで処理させる場合は、Shell() 実行まで。(ErrorLevel は返りません)
' バックグラウンドでも終了の確認が必要な場合は、他の処理で適宜チェックしてください。
'
```

```
Private Function PrintProc(ByVal Func As String) As Long
```

```
Dim ProcID As Long
Dim ProcHandle As Long
Dim ErrorLevel As Long
Dim TimeCounter As Integer
Dim ProcStatus As Long
```

実行プログラムの絶対パスが必要です。
通常はこのようになります。

```
ProcID = Shell("C:\Program Files\夢企画\配送伝票印刷\DeliverySlip.exe " & Func, vbNormalNoFocus)
ProcHandle = OpenProcess(&H1F0FFF, True, ProcID)
```

```
' 最大1時間でタイムアウト。 5秒毎に一応処理を戻す。
```

```
Do
```

```
ProcStatus = WaitForSingleObject(ProcHandle, 5000)
```

```
' 未終了であれば最大5秒間の待ち
```

```
TimeCounter = TimeCounter + 1
```

```
Loop While TimeCounter < 720 And ProcStatus <> 0
```

```
' 一定時間内に処理終了が確認できれば・・・
```

```
If ProcStatus = 0 Then
```

```
' ErrorLevel を取得
```

```
GetExitCodeProcess ProcHandle, ErrorLevel
```

```
Else
```

```
' 出来なければ、タイムアウトとして -100 を返す。
```

```
ErrorLevel = -100
```

```
End If
```

```
' ハンドルを閉じる
```

```
CloseHandle (ProcHandle)
```

```
' ErrorLevel を戻り値としてセット
```

```
PrintProc = ErrorLevel
```

```
End Function
```

コマンドライン詳細

コマンドラインは以下の様な形式になります。

DeliverySlip.exe FUNCTION OPTION

“DeliverySlip.exe” は実際にはその前に実行ファイルまでの絶対パスを付加するか、カレントディレクトリーを実行ファイルがあるディレクトリーに移動させておく必要があります。

ディレクトリーパスを付加する場合は、通常 “C:\Program Files\夢企画\配送伝票印刷\DeliverySlip.exe” となります。

FUNCTION 及び OPTION は下の表の通りで、各項目は半角スペースで区切ります。

ファイルパスやプリンター名、あるいは伝票様式名などに空白文字が入る場合は半角のダブルクォート (") で囲みます。
(常に囲むようにしてもかまいません)

コマンド例： C:\temp\test.dat の伝票データを 10 件目から 20 件を印刷する場合・・・

...DeliverySlip.exe print C:\temp\test.dat S=10 L=20 ...となります。

機能	FUNCTION	OPTION
コントロールパネル起動 本ツールをメニュー形式で単独使用するための「コントロールパネル」を起動させます。FUNCTION に “menu” を指定するか、何も指定しない場合にコントロールパネルが起動します。	menu	
プリンターレポート システムに登録されているプリンターの名称をレポートします。 レポートは FilePath で示されたファイルに出力されます。FilePath に “clip” が指定された場合はクリップボードに出力されます。 ※ファイルが指定されていない場合もクリップボードに出力されます。	prnrep	FilePath
プリンター指定 出力先のプリンターを指定、または現在設定されているプリンター名を返します。 PrnName が指定されていない場合は、現在指定されているプリンター名をクリップボードに返します。 指定するプリンター名はプリンターレポートでリストアップされた内容と同一である必要があります。	prnset	PrnName
様式レポート 登録されている伝票様式の名称をレポートします。 レポートは FilePath で示されたファイルに出力されます。FilePath に “clip” が指定された場合はクリップボードに出力されます。 ※ファイルが指定されていない場合もクリップボードに出力されます。	formrep	FilePath
様式指定 標準で使用する伝票様式を指定します。 FrmName が指定されていない場合は、標準指定されている様式名をクリップボードに返します。 指定する様式名称は様式レポートでリストアップされた内容と同一である必要があります。	formset	FrmName
様式定義データレポート FrmName で指定された様式の定義データをクリップボードに返します。 FrmName が指定されていない場合は、標準指定されている様式の定義データを返します。	itemrep	FrmName
様式データ編集 伝票様式の定義データを編集するためのパネルを起動します。	formedit	

連続印刷 1 行 1 件として列記されたデータを基に伝票を出力します。 データファイル内にて伝票様式の指定も可能です。 様式の指定が無い場合は「様式指定」で設定されている様式が適用されます。 コマンド形式： print filepath C=encode S=start L=length filepath：データファイル (F=filepath の形式でも可) clip = クリップボード, “clip” 以外は実ファイルのフルパスを指定すること！ encode : データファイルの文字コード ※クリップボード経由の場合は無視されます。また指定無き場合は Default となります。 U = Unicode, S = ShiftJIS, 8 = UTF-8, D = Default, J = JIS start : 出力開始データ番号 (先頭からの通し番号で、指定無き場合は 1 から) 1 ~ length : 出力開始データ位置からの出力対象データ数 (指定無き場合は最後まで) 0 = 最後まで出力, 1 ~ = 指定データ数分出力	print	filepath C=encode S=start L=length
1 件印刷 ※V e r 1 . 0 . 0 . 0 では実装されていません。	printl	

戻り値 (エラーレベル) 一覧

戻り値	内容
0	正常終了しました。
- 1	処理指定エラー。 FUNCTION の指定に誤りがあります。
- 2	指定されたファイルが存在しない。 またはファイルの指定が無い。
- 3	内部で使用するファイル等にエラーあり。
- 4	その他のエラー
- 5	文字セット指定エラー。 文字コードの指定が間違っています。
- 6	ファイル書出しエラー。 内部で使用する作業用ファイルの書出しが正常に行えませんでした。
- 7	ファイル無しエラー。 印刷データのファイル等を指定した場合、そのファイルがありませんでした。
- 8	フォント指定エラー。 伝票様式データで指定されているフォントがシステムに登録されていません。
- 9	起動回数が試用制限に達しています。
- 1 0	プリンターが無効。 指定されたプリンターがシステムに登録されていません。
- 1 1	用紙が指定できない。 伝票様式で指定されたサイズの連続しや A 4 サイズの用紙がプリンター用紙として登録されていません。
- 1 2	何らかの理由で印刷が出来なかった。
- 2 0	様式指定が無効。 指定された様式名がありません。 伝票様式データの内容をあるいは指定した名称を確認してください。
> 0	正の値は、何らかの原因で印刷処理を中止したデータ、またはその一つ前のデータ番号を示します。原因としては、伝票様式を変更した場合に指定した様式が無かった、あるいは伝票データの内容 (日付の書式など) に問題があるなどが考えられます。

データファイル詳細

◎様式定義ファイル

様式定義ファイルは伝票様式に関する様々なデータを定義したテキスト形式のファイルです。
一般的なテキストエディタや本ツールの「様式編集」処理を使用してデータの編集が可能です。

ファイル : アプリケーションフォルダ内 PrnForm.dat

文字コード : シフト J I S

構成 : ファイルの構成は以下の様に init:, year_base: の全体に掛かる設定と [] で囲まれた様式名称から始まる様式毎の定義データで構成されます。
様式名称の重複はあってもかまいませんが、様式を指定した場合は常に先に現れた定義が使用されます。

“init:” 行は印刷に関する設定で、Xhoff, Yhoff は用紙をセットした時のプリンターと用紙の機械的な原点位置のズレをセットしますが、通常は“0”を設定します。(印刷時に位置情報に加算されます。)

“Quality” は印刷品質で 0～4 を設定します。4 が高品質ですが、この設定はプリンターによっては機能しない場合があります。

“FontName” は印刷に使用するフォント名を指定します。インストールされていないフォントを指定するとエラーとして印刷を行いません。

init: Xhoff, Yhoff, Quality, FontName ← 印刷に関する設定です。

year_base: 1989 ← 日付に元号を使用する場合の基点を設定。 平成の場合は 1989

※上の 2 項目は様式定義データの開始前に 1 度だけ設定します。

[様式 1] ← 様式データの開始は半角の各括弧 (“ [xxx] ”) で囲まれた様式名から。

※この行にはコメントや余分なスペースを入れてはいけません！

Size, Width, Height ← 用紙サイズは必ず指定してください。

Offset, Xoff, Yoff ← 基点は出来るだけ指定してください。

Date_ww, X, Y, P ← この様に、その伝票に必要な項目のみを 1 様式として列記します。

・ 1 項目は 1 行で記述します。 “;” (半角のセミコロン) 以降は
・ コメントとして認識されます。
・

[様式 2]

Size, Width, Height

Offset, Xoff, Yoff

Date_ww, X, Y, P

・
・
・

様式定義では必要な項目 (必要性がある項目) のみを定義します。

1 項目は「項目キー」とその位置や文字の大きさ等を指定したデータで構成され、項目キーそのものを印刷対象とする事も可能です。

ユーザー定義項目は各様式で同じ項目キーを定義することで伝票の種類が変わった場合でもそれぞれに対応した項目を指定する事無く共通の項目としてデータを渡せる様になります。

1) 標準定義項目

次の表の項目は標準項目として既に規定されています。

「従属情報」の意味合いは次の通りです。

- x, y : 項目内容を印刷する領域の左上隅の位置 (単位はミリ) ※この情報は必ず必要です。
 p : 文字サイズ (単位はポイント) ※ポイント値は正確には再現されません。要実機確認！
 i : 文字間隔 (単位はミリ) ※1文字毎の基点位置の間隔です。
 h : “-” (ハイフン) 文字に対する修飾方法 (全角・半角)
 >0 指定の長さの空白で置換える (単位はミリ) 092-123-4567 → 092 123 4567
 0 そのまま出力 092-123-4567 → 092-123-4567
 -1 空白文字で置換える 092-123-4567 → 092 123 4567 (全角・半角の区別あり)
 -2 出力しない 092-123-4567 → 0921234567
 l : 行間隔 (単位はミリ) ※複数行の場合に使用する行の高さ

項目キー	従属情報	内 容	
Size	Width, Height	伝票のサイズを設定します。 設定に最も近いインチサイズ用の紙が優先して選択されます。詳しくは「仕様」の項（→P 3）を参照してください。	
Offset	x, y	出力項目の位置情報に対する基点（プリンターの基点からの位置）を設定します。 指定が無い場合は 0,0 となります。 各位置情報にこの位置情報を加算した位置が実際の印刷位置になります。	
Date_yy	x, y, p, i	受付日の西暦下 2 桁	データとして “*”（半角アスタリスク）を渡すと、印刷開始日が自動的に適用されます。
Date_yyyy	x, y, p, i	受付日の西暦 4 桁	
Date_ww	x, y, p, i	受付日の和暦 2 桁	
Date_mm	x, y, p, i	受付日の月	
Date_dd	x, y, p, i	受付日の日	
Del_i_yy	x, y, p, i	引渡し予定日の西暦下 2 桁	
Del_i_yyyy	x, y, p, i	引渡し予定日の西暦 4 桁	
Del_i_ww	x, y, p, i	引渡し予定日の和暦 2 桁	
Del_i_mm	x, y, p, i	引渡し予定日の月	
Del_i_dd	x, y, p, i	引渡し予定日の日	
Rec_Post	x, y, p, i, h	届け先の郵便番号	
Rec_Adrs	x, y, p, i, h, l	届け先の住所	
Rec_Name	x, y, p, i, h, l	届け先の氏名	
Rec_Phon	x, y, p, i, h	届け先の電話番号	
Req_Post	x, y, p, i, h	依頼主の郵便番号	データとして “*”（半角アスタリスク）を渡すと、直前に “Req:” キーワードにて設定された依頼主の情報が自動的に適用されます。
Req_Adrs	x, y, p, i, h, l	依頼主の住所	
Req_Name	x, y, p, i, h, l	依頼主の氏名	
Req_Phon	x, y, p, i, h	依頼主の電話番号	
Cnt_Name	x, y, p, i, h, l	内容物の名称等	
Cnt_Pric	x, y, p, i	内容物の金額等	
Cnt_Code	x, y, p, i, h, l	内容物を示すコードなど。	

2) ユーザー定義項目

項目キー	従属データ	内 容
Opt:xxxx	x, y, p, i, h, l	項目定義 xxxx に項目名を入れます。例えば右の様に設定した場合 “Opt:コメント, x, y” 印刷データの中に “Opt:コメント=コメント内容” の指定があれば指定された x, y の位置に “コメント内容” と印刷されます。
Mark:xxxx	x, y, p	マーク定義 伝票中の選択項目等に丸印を付ける様な場合に定義しておきます。 xxxx に項目名を入れます。例えば右の様に設定した場合 “Mark:チェック, x, y” 印刷データの中に “Mark:チェック” の指定があれば、x, y の位置に○印が印刷されます。
NNNN	x, y, p, i, h, l	無条件印刷定義 無条件で文字列を印刷したい場合に定義します。NNNNは任意の文字列で、各従属データに従った形で必ず印刷されます。

3) 様式定義ファイルの例

init: 0, 0, 4, MS ゴシック

year_base: 1989 ; 和暦計算用の値 (元号の基点西暦年)

[日本通運 ペリカン便]

様式の名称は半角の角括弧 “[]” で囲みます。
この行にはコメントや余分なスペースなどはつけないで下さい。

Size, 230, 101 ; 用紙サイズ指定
Offset, 6, 0 ; 項目位置情報に対する基準位置

Date_ww, 93, 11, 11 ; 受付日 和暦年
Date_mm, 103, 11, 11 ; 受付日 月
Date_dd, 113, 11, 11 ; 受付日 日
Del_i_ww, 93, 20, 11 ; 配達予定日 和暦年
Del_i_mm, 103, 20, 11 ; 配達予定日 月
Del_i_dd, 113, 20, 11 ; 配達予定日 日

様式定義データの各項目の区切りは半角のコンマ “,” です。タブコードや全角のコンマではありません。
またスペースを空ける場合は半角スペースを使用してください

Rec_Post, 32, 9, 14, 7.5, 5 ; 受取人 郵便番号
Rec_Adrs, 30, 18, 12 ; 受取人 住所
Rec_Name, 30, 42, 12 ; 受取人 名前
Rec_Phon, 33, 49, 12, 4.5, 4 ; 受取人 電話番号

Req_Post, 32, 57, 14, 7.5, 5 ; 依頼人 郵便番号
Req_Adrs, 30, 65, 12 ; 依頼人 住所
Req_Name, 30, 80, 12 ; 依頼人 名前
Req_Phon, 33, 87, 12, 4.5, 4 ; 依頼人 電話番号

Cnt_Name, 128, 27, 11 ; 内容 品名
Cnt_Pric, 110, 38, 11 ; 荷物の価格 (保険用申告額)

Opt:伝票番号, 132, 10, 14 ; 伝票コード (お問合せ番号)
Opt:問合せ先, 140, 17, 10 ; 問合せ先
Opt:取扱店, 162, 45, 12 ; 取扱店
Opt:運賃, 105, 77.5, 9 ; 運賃
Opt:諸料金, 105, 80.5, 9 ; 諸料金
Opt:合計, 105, 89.5, 9 ; 合計

Opt:個口, 180, 38, 10 ; 個口
 Opt:個番, 174, 28, 10 ; 個番 (個口中)

 Mark:午前中, 95, 30, 14 ; お届け時間帯 午前中
 Mark:12-14, 95, 36, 14 ; お届け時間帯 12-14
 Mark:14-16, 95, 42.5, 14 ; お届け時間帯 14-16
 Mark:16-18, 95, 49, 14 ; お届け時間帯 16-18
 Mark:18-20, 95, 55, 14 ; お届け時間帯 18-20
 Mark:20-21, 95, 61.5, 14 ; お届け時間帯 20-21
 Mark:希望なし, 111, 30, 14 ; お届け時間帯 午前中

 Mark:スキー, 116, 44.5, 11 ; スキー
 Mark:ゴルフ, 110, 44.5, 11 ; ゴルフ
 Mark:空港, 110, 52, 11 ; 空港
 Mark:冷蔵, 110, 60, 11 ; 冷蔵
 Mark:冷凍, 116, 60, 11 ; 冷凍

 Mark:持込, 124, 60, 11 ; 持込
 Mark:集荷, 130, 60, 11 ; 集荷

 Mark:60, 98, 69, 11 ; サイズ 60
 Mark:80, 104.5, 69, 11 ; サイズ 80
 Mark:100, 111, 69, 11 ; サイズ 100
 Mark:120, 117, 69, 11 ; サイズ 120
 Mark:140, 123.5, 69, 11 ; サイズ 140
 Mark:170, 130, 69, 11 ; サイズ 170

 Mark:フレ, 130, 39, 12 ; フレもの
 Mark:ナマ, 140, 39, 12 ; ナマもの

 様式名称, 10, 10, 12 ; 無条件に印刷

10, 10 の位置に無条件に“様式名称”と印刷されます。

[ヤマト 宅急便]

← 次の伝票様式データ

Size, 230, 101
 Offset, 10, 0

Date_ww, 93, 11, 11
 Date_mm, 103, 11, 11

.
 .
 .

◎印刷用データファイル

印刷用データファイルは実際に出力されるデータを列記したもので、1件分を1行で表し、各項目及びキーワードはタブコードで区切ります。

特別な行として、「伝票様式の指定」および「依頼主情報の設定」を含める事が出来ます。

※インストールしたフォルダにサンプルファイル（印刷テストデータ.dat）がありますので参考にしてください。

ファイル： 任意のテキスト形式ファイル または クリップボード

文字コード： Unicode, ShiftJIS, UTF-8, JIS, EUC-JP ※ファイル指定時に文字コードも指定

改行指定： 項目内容を複数行に印刷する場合は、改行位置に“\n”（半角）を挿入します。

構成： ファイルの構成は以下の通り。

様式指定行・・・“Form:”のキーワードで始まる行で、これ以降の伝票データに適用する伝票様式を指定します。 例： Form: -TAB- 日本通運 ペリカン便

依頼主データ行・・・“Req:”のキーワードで始まる行で、これ以降の伝票データで「依頼主（荷主）」に関する項目（記述順10～13）に“*”が指定された場合に適用するデータを定義します。項目内容が不足している場合はエラーとして処理を中止します。

例： Req: -TAB- 氏名 -TAB- 郵便番号 -TAB- 住所 -TAB- 電話番号

伝票データ行・・・先の2種類のキーワードが行頭に付いた行以外で項目数が13項目以上（記述順1～13のデータが揃っている）の行を伝票データとみなします。

伝票データ行の必須項目（これらの項目は内容の有無に関わらず、必ず規定の順序で列記しなければいけません）

記述順	内容	備 考
1	受付日	“2008/01/11”, “08/01/11”, “平成19年1月11日”などの形式で指定します。“*”（半角アスタリスク）を指定すると印刷を開始した日付になります。
2	配達予定日	「受付日」同様の形式で日付を指定します。または“+4”などとして受付日からの相対日を指定します。 ※“*”機能や“-”側の相対日指定は使えません。 受付日情報が無い場合は相対指定も無効になります。
3	受取人 氏名	
4	受取人 郵便番号	
5	受取人 住所	
6	受取人 電話番号	
7	内容物	
8	商品コード	
9	商品価格	
10	依頼主 氏名	“*”（半角アスタリスク）を指定すると“Req:”行（依頼主情報の設定）で設定した内容が適用されます。
11	依頼主 郵便番号	
12	依頼主 住所	
13	依頼主 電話番号	

記述順で14番目以降は“Opt:”や“Mark:”などのユーザー定義項目用となります。

“Opt:”や“Mark:”は使用する様式の定義に目的の項目が含まれていないと意味を成しません。

印刷用データファイルの記述例

Form: 日本通運 ペリカン便

Req: 夢企画 太郎 812-0000 福岡市東区筥松Yn2-3-17-202 011-232-1880

"Date", "Deli", "Rec_Name", "Rec_Post", "Rec_Adrs", "Rec_Phon", "Cnt_Name", "Cnt_Code", "Cnt_Pric", "Req_Name", "Req_Post", Req_Adrs, "Req_Phon"

* 2007/12/1 受取人名1 800-1234 受取人住所1 Yn2 行目住所 092-123-4567 内容物名称 CODE1123 1239

* * * * mark:スキー mark:60

* 2007/12/10 受取人名2 980-4321 受取人住所2 Yn2 行目住所 092-123-4567 内容物名称 CODE1123

1239 * * * * mark:集荷 mark:170 opt:問合せ先=夢企画

必須項目の並びを示した非データ行です。必要な行ではありません。

用紙の都合上折り返して行が増えていますが、2件分のデータで、実際は2行です。

各項目の区切りは全てタブコードです。

動作確認ツール

配送伝票印刷処理プログラムの動作を確認するためのツールを用意しています。

スタートメニューからは「配送伝票テスト」を実行します。

実行プログラムを直接指定する場合は、本プログラムをインストールしたディレクトリーの“D_test.exe”を実行します。

このツールは他のプログラムから配送伝票印刷処理プログラムを実行させる場合のサンプルとして、また同様の利用をする場合のコマンドラインのチェックや動作確認等を目的として同梱しています。

[一覧取得] ボタン

プリンターや伝票様式の一覧を取得し右の表示枠に表示します。

データの受渡し方法はクリップボード（“Clip”）またはファイル（“File”）を指定します。ファイルを指定した場合は続いて表示されるファイル指定のパネルでファイルを選択あるいは指定します。

[デフォルト設定] ボタン

ボタン右の枠に表示されている内容を標準で使用するプリンターあるいは伝票様式として登録します。

右枠には直接入力可能です。

[デフォルト取得] ボタン

現在標準として設定されているプリンターあるいは伝票様式の名称を取得し、ボタン右の枠に表示します。

[様式定義データ取得] ボタン

「デフォルト設定ボタン」の右にある枠に設定されている様式名称の定義データを取得し、右の表示枠に表示します。

[様式データ編集] ボタン

伝票様式の編集機能呼び出します。

[コントロールパネル] ボタン

コントロールパネル呼び出します。

[連続印刷] ボタン

伝票印刷を行います。データの受渡し方法等が指定可能です。出力は標準に設定されているプリンターに行われます。

[ダイレクト] 入力枠

コマンドラインを直接編集して渡したい場合に、この入力枠に設定して右の「実行」ボタンを押します。

[←] ボタン

「一覧取得」の実行で表示された一覧から選択された名称を「デフォルト設定」ボタン右にある入力枠（矢印の先にある入力枠）に転記します。

「デフォルト設定」や「様式定義データ取得」処理を行う場合にご利用下さい。

伝票データのサンプルを同梱していますので、データ作成時の参考や出力確認などにご利用下さい。データはインストールしたフォルダに配置されています。通常は以下のフォルダとファイル名です。

“C:\Program Files\夢企画\配送伝票印刷\印刷テストデータ.dat”

伝票様式データは正式なものではありません。ご自身の必要に応じて定義データを作成してください。

配送伝票印刷処理プログラム 利用解説書

制作・著作 夢企画